



令和4年度の予算は

問 ①投資的経費が総額39億5千万円となった要因は。
②市債発行額は。

答 ①次期ごみ処理施設の建設、抜本的な浸水対策や想青学園の整備等に取り組むため令和3年度と比べ約162億円の増加となった。
②投資的経費の増加に伴い、過去最高額の約264億円を見込む。

児童虐待防止対策は

問 子ども家庭総合支援拠点の取り組み状況は。

答 児童虐待の相談等への対応や「あのね」などと連携して保健師等の専門職による相談支援を行い、早期の課題解決に取り組むことで虐待の未然防止に努めている。

福山市強靱化地域計画は

問 自治会や自主防災組織との連携および具体的な施策は。

答 本市は地域と共に防災意識の高揚や、学区・地区防災（避難）計画の作成促進等に取り組んでい

公共施設等サービス再構築基本方針は

問 数値目標は。

答 公共施設は再編等による増

箕沖埋め立て地は

問 ①残余年数は。
②延命化の取り組みは。

答 ①現状の処分状況から、約18年と試算している。
②次期ごみ処理施設では焼却灰を全量再資源化するほか、町内清掃士の再利用化などに取り組む。

誠友会



能宗 のぶゆき

正洋 まさひろ



デジタル基盤の整備は

問 ①光ファイバ未整備地域の現状は。
②本市が管理する施設への公衆無線LANの導入状況は。

答 ①未整備であった8地域のうち、新市町金丸地域は昨年8月

福山未来共創塾は

問 ①これまでの取り組みへの評価は。
②令和4年度の取り組みは。

答 ①より良い未来社会に向けSDGsの理念の下、具体的な共創の取り組みが実践されている。

里山里地保全や多文化共生などの身近な暮らしの中の解決すべき課題について、地域団体、企業、学校などが連携した取り組みやオンラインを活用した情報発信などコロナ禍にあっても工夫を凝らし

からサービス提供が開始された。他の7地域は3月22日から開始される予定である。

また、すでに整備されていた地域の中で、サービス提供事業者の事情により光ファイバが届いていなかった場所についても3月7日から開始される予定である。

②すでに光ファイバが整備されている地域の公民館や拠点支所など90施設に導入済みである。

残りの8公民館についても、サービスの提供開始に合わせて導入していく。

積極的に活動されている。

また、多くは公益性の高い先進的な取り組みで、30年後の福山の未来図の実現につながるものも期待している。

②まちづくりにチャレンジする活動への支援は、引き続き必要と考えられる。令和4年度には、まちづくりサポートセンターの運営に当たる民間事業者と連携を図りながら今後の方向性を検討していく。



性を検討していく。

※福山市強靱化地域計画：国土強靱化基本法に基づき、大規模な自然災害が発生しても致命的な被害を負わない「強さ」と被災後に「速やかに回復するしなやかさ」を備えた「強靱な地域づくり」を進めるために策定した計画